

平成27年度にじと風福祉社会事業報告(案)

(H27.4.1~H28.3.31)

1.役員会等	2.事業	6.施設関係
6.21 通常総会 第15期 5.17 理事会 原則3ヶ月毎月第一日曜日 6.21 “ 11.16 “ 3.27 “	(総合支援法による障害福祉サービス事業) 放課後等デイサービス事業4事業所 居宅介護事業(知・身・児) 行動援護、同行援護、重度訪問介護事業含 指定特定相談支援事業(児童、知的、身体、精神) (総合支援法による地域生活支援事業) 日中一時支援事業(知・身・児) 移動支援事業(知・身・児) 事業範囲 (八千代市、船橋市、白井市、 6市 習志野市、千葉市、佐倉市)	4月 花浅葱入社式 15名 1月~3月 やちよ福祉塾
3.助成事業	(委託事業) 千葉県障害児地域療育等支援事業 船橋市障害児地域療育等支援事業 (自主事業) 放課後活動事業 土曜休日活動事業 長期休暇中の活動事業 レスパイトサービス事業 給食、送迎サービス事業 (研修事業) 大学研修受入 大学インターンシップ受入 市内小中学校研修受入 (総合学習、ボランティア体験学習) 縣市教職員初任研修受入 福祉塾開催	8.広報 4・20 にじと風だよ86号 1500部発行 7・20 にじと風だよ87号 1500部発行 11・20 にじと風だよ88号 1500部発行 1・31 にじと風だよ89号 1500部発行
動作法研修会(後援) 原則月1回 場所:あべこどもクリニック3F 講師:順大飯島先生 世話人:石渡  電動車椅子サッカーチーム「クローバーズ」の 活動後援 6.14 No6電動車椅子サッカー千葉県協会大会 9.23 第19回関東電動車椅子サッカー大会		5.研修 毎月1回 職員研修 第4月曜日 4月 同行援護従事者研修 4月 新入職員研修5名 5月 救急救命法 6月 市内中学福祉体験生受け入れ 7月 相談支援従事者初任研修2名 8月 防災力強化研修 8月 自閉症セミナー 8月 全障研岐阜 42名 8月 施設見学 8月 サービス管理責任者研修(現任) 10月 発達障害者相談員研修 10月 アンダーマネジメント研修 11月 放課後連研修 12月 重度訪問資格研修 12月 相談支援現任スキルアップ 1月 行動援護従事者研修 2月 アメニティーフォーラム 2月 全国放課後連研修会
4.行事 (レクリエーション、イベント)	7.対外活動	7.対外活動 (各種定例委員会出席等) ○八千代市自立支援協議会 子ども分科会長 ○八千代市福祉ネットワーク ○八千代市市民活動サポートセンター運営委員会 ○友愛みどり園評議会 ○県肢体不自由児者父母の会役員会 ○選べる福祉ネットワーク ○なかまネット障害者部会 ○放課後連千葉、全国放課後連 事務局長 連絡員 ○八千代市特別支援教育連携協議会 ○千葉県相談支援事業者連絡協議会 副会長、 ○千葉県知的障害者福祉協会 児童部会 ○船橋市相談支援事業者連絡協議会児童、研修部会
4月 イチゴ狩り 49名 ビッググリーンアドベンチ-35名 招待観劇会 8名 5月 日帰り旅行(筑波山) 38名 招待観劇会 21名 5月 県身体障害者スポーツ大会 6月 KIDS TDL 参加 44名 6月 県民の日お出かけ 29名 7月 ジャガイモ掘り 36名 7月 海の日お出かけ 34名 7月 さくらカフェ 71名 8月 葛西水族館 36名 8月 -23 親子研修一泊旅行(那須) 41人 8月 夏祭り 86人 8月 ダーツ大会 34人 8月 流しそうめん 74名 9月 手賀の丘公園 32人 9月 サツマイモ掘り 30名 10月 -3 KIDS 手賀沼キャンプ 4名 12月 ニューリバーロードレース 24名 12月 クリスマス会 59名 1月 新春餅つき大会 73名 1月 初詣風あげ 37名 2月 節分、豆まき 2月 バレンタインコンサート 34名 2月 スキー旅行 60名 5回目他施設合同 3月 ひなまつり 3月 陶芸教室 69名 3月 ボーリングお花見 49名 3月 卒業おめでとう会 61名	5月 県重心守る会総会 5月 東京放課後連学習会 5月 千葉県指定相談事業所連絡会総会 5月 県肢体不自由児者父母の会総会 6月 八千代市サッカー協会総会出席 7月 千葉地域生活フォーラム出席 6月 県肢体不自由児者父母の会関ブロ参加 2名 7月 千葉県重心協総会 8月 全障研全国大会参加 9月 電動車椅子サッカー関東大会第19回 9月 三者交流会 10月 -24きょうされん全国大会 11月 県肢指導者研修会 11月 放課後連厚労省交渉 12月 中核支援センター「なかまネット」障害者 12月 障害者虐待防止法研修会  八千代リハ学院卒業式 県立船特別支援学校入学式 10. 市児童発達支援センター運動会  10. 八千代特支あすなろ祭 10. 市身体障害者スポーツ大会 11 県船橋特支船養祭 11. 市民活動サポートセンターまつり 11 とっておきの福祉祭り 12 救急救命法研修 1. 肢体不自由児者役員会 2. 市児童発達支援センター発表会 3. 八千代特別支援学校他卒業式出席 3. 電動車椅子関東総会	

6 全体

放課後等デイサービス事業所4事業所「にじと風」「にじと風キッズ」「さくらいろの風」「あかねいろの風」は其々の特色を生かして概ね順調。各事業所独自の事業を実施。また合同事業も実施できるようになった。

生活介護事業「花浅菫」は事業は順調だが稼働率50パーセント未満で経営的には厳しい。

児童発達支援事業今年度も申請せず 初期療育は民間ではなく公が費用負担を、利用者に負担させることなく高度な専門性を持つ職員集団で行うべきである

同様の理由で保育所等訪問も実施せず有資格者は2名

連携事業: 2種さくらんぼ(ぼっぼより名称変更)、早稲田アシスト、個人契約者対象者6名 変化なし

使用時間に応じて実費水光熱費支払を受ける

職員体制: 規定の3倍配置 常勤 18名

非常勤 29名

契約 3名

事業 相談事業は順調だが国保への請求は殆どされなかった。職員配置は変わらず2名  
会報を年4回発行できた。

常勤雇用増加総数増加

防災訓練実施、職員健康診断、運転者講習会救急救命法等の実施

AED全事業所設置

自主研修会「やちよ福祉塾」を再開できた。

施設整備、環境整備が上手になってきた。 季節ごとの花壇整備清掃

遊具の清掃、修理」が上手になった。

職員会議、サビ管会議の開催が定期的になった。

緊急時の子供用シェルターとして利用する事あり(さくらいろの風、にじと風キッズ)

短期入所は受託しない。

リスク管理救急救命法から始める 福祉避難所 民間広域機関に登録完了

車両事故減少 H27年度 1回 前年度よりさらに改善された

その分スノータイヤ購入できた(全車両)

タクシー送迎は経費的にもまた子どもの社会性を育てるためにも良い効果がある。継続

マイナンバー導入に伴い個人情報の取り扱いの厳格化完了

次年度への懸案事項

生活介護事業開所の経営の安定

放課後等デイサービス事業所の事業内容のさらなる充実

病児お預かり場所が2か所になり消毒、車両の使用制限等がなくなり利用者従業者に対する負担が軽減された。

夕食供与人数が増加した21時まで

早朝登校支援も増加した7時から

両事業とも制度外なので施設負担が増している。

職員の毎日50食のおやつ作りの腕が上がった(「おいしかったよ」と言ってもらいたいため)

7 各事業所・事業ごと

年間実績

① にじと風

行なっている事業	6種	開所日数	利用人数	利用時間	件数
放課後等デイサービス事業		261	1906	8944.5	7.3
日中一時支援事業		365	1567	6203.5	4.3
移動支援事業		365	1417	1873	3.9
居宅介護事業		365	728	3373	2
相談支援事業		365	2436	2435.8	6.7
相談支援事業(障害児等療育支援事業)		365	1730	2416	4.7

ワンフロアの中で年齢障害の違いに関わることなく各自の遊びたい遊びを遊ぶ。

社会性の育ちを促す。ちょっと我慢する。

我慢できない事を伝える。

お友達を作る。お互いに認め合う。

送迎箇所時間職員配置等事業所全体の調整を行う。

ワンフロア全体を使った線路遊び。バルーン、ボーリングごっこ

夜間個別を通しての摂食訓練、個別療育遊びの導、個別遊具の作成

家族のレスパイト、就労保障の利用者が多い。

個別支援計画の文章化がなされていない人がいる。

にじと風キッズ

主に個別対応の必要な利用者、病児の待機。

さくらいろの風

放課後デイサービス事業

外来障害児等療育支援事業への開催場所の提供

法人事務業務の一部事務所(経理、人事、書庫)

スノーズレンを利用した活動主体

今年度よりハンギングチェア導入 利用状況良好 リクライゼーションの幅が広がった

おやつのかたづけ準備を行うことでお手伝い、小さい子の面倒を見る等自発的社会性が育っている。

独自行事 銭湯ごっこ・さくらカフェ

開所日数	利用人数	利用時間	件数
261	1659	8641	6.4

あかねいろの風

放課後デイサービス事業のみ

自主保育ぼっぼとの共同事業実施場所

幼児利用者を日中一時にて保育

大きなトランポリン戸高い天井、が特色。

身体を動かして遊ぶ事が好きな子どもが多く在籍する。

利用者にあかねいろの場所に慣れてもらうために週1回法人全体より利用者を選定し活動。

夏休みより毎日固定利用者で本格運用開始

提案により事務室をボールプールのみ部屋の部屋に変更

法人全体の遊具の保管庫の役割を果たす。

独自事業として 屋外プールの実施、生活介護事業所の雨天体操場、銭湯ごっこ

課題

トンネル、室内用砂等遊具は準備されているが使いこなせない。次年度課題

<b>居宅介護事業</b> 類型4事業実施	にじと風福祉会利用者の個別支援の一環として開始したが、今年度は成人他市よりの利用者が多くなった。 1回の利用時間が長時間に及ぶのでヘルパーの稼働率が悪い。 利用者には好評で打診者が多くすべてのニーズに応えきれない。	開所日数	利用人数	利用時間	件数	
		行動援護	365	314	2280.5	
		同行援護	365	214	528.5	
		重度訪問 通院等同行	365	200 0	564 0	

**重度訪問**

1名のみ登録 週4~5回。  
 生活行為の確保。  
 有資格者3名による支援 主に介護。

**居宅介護**

1名のみ登録 不定期。  
 生活行為の確保 入浴・身辺整理。  
 現在登録あるがサービスの実施無し。

**行動援護**

八千代 5名  
 船橋 3名  
 習志野 1名  
 栄町 1名  
 有資格者5名による支援 主に外出 順調。

**同行援護**

船橋 1名

☆次年度への課題(案)

- ・支援者の技能資質の更なる向上⇒外部研修等への参加。
- ・休日稼働可能なヘルパーの増加⇒利用者数の増加を図る。
- ・利用者の支給決定がなかなか下りない⇒継続して訴えていく。

<b>地域生活支援事業日中</b>	法制度の改正に伴い放課後デイサービス受給量が減少し、足りない預かり日数の不足の補完としての利用形態が多くなった。 業後のホットするひと時的利用は継続 学齢期のレスパイト(家族就業保障主体)	開所日数	利用人数	利用時間	件数
		日中一時	365	1567	6203.5

<b>地域生活支援事業移動</b>	居宅介護事業に準ずる 利用基準が市町村によりばらつきが多くなった。 通学、通所に利用できるようになった市町村もあるがサービスの種類が出来たことで家族力をそぐことの無いよう留意して事業を実施していきたい。	開所日数	利用人数	利用時間	件数
		移動支援	365	1417	1873

- ・ヘルパーとのお出かけ外出、学校、通所・入所施設への送り迎え。
- ・1対1の対応なので職員を独り占めでき好きなところへ行くことが出来た。
- ・計画相談により支給件数が増加。年間利用人数の増加に繋がる。
- ・移動支援から行動援護に支給内容が変更され他利用者がおり年間利用時間が減少した。
- ・船橋市は25年度よりお出かけのみであったが27年度よりお出かけ外出、学校、通所・入所施設への送り迎えが可能となった。
- ・八千代市はお出かけのみ。

☆次年度への課題(案)

- ・職員、ヘルパーが1対1の為非常時の決断が難しい⇒職員ヘルパーの更なる研修の実施。
- ・利用者ニーズの変化に伴う対応の在り方⇒事業所の方針を明確にしながら利用者に寄り添う支援を継続していく。